

ICHIKAWA DESIGN SUMMER SCHOOL FOR YOUTH

高校生以上の学生

が、自分の頭と手で、住むまちとデザインを考え始めるための短期ワークショップです。デザイン・建築・コミュニティ分野の第一線で活躍するプロたちと一緒に、まちやデザインのことを学んだり、仲間と話しあったり、絵や言葉で表現する、濃厚な3日間。

いつもの学校とは違う「学びの場」を通して、自分たちのまちのことがもっと好きになったり、将来の視野を広げるキッカケを作ってみませんか。

学生が自分たちの町とデザインを考え始めるためのサマースクール

講師

ハーバードデザインスクールを始め世界各地で、10代の若者たちにデザインや建築の教育を提供するブライアンさんをメイン講師に迎えます。



Bryan Ortega Welch
教育者 / ハーバード大
学院建築学科 在籍 /
<http://guilds.co>



湊誠也
Depot Community
Service ディレクター
<https://www.depot.services>



河野直 + 桃子
建築家 /
つみき設計施工社 代表
<https://tsumiki.main.jp>

8/7.8.9
夏休み 3日間

プログラム

[日時] 8月7・8・9日 9:30-18:00

[対象] 高校生・専門学生・大学生 20名程度を募集します

- A. 高校生スタジオ（高校1年から3年）
- B. 大学生・専門学生スタジオ（専門学校・大学・大学院生）
の2クラス構成でワークショップを行います。

[参加費] 3日間 15,000円（受講費・教材費・保険代）

[備考]

- ・英語を話せる必要はありません
（講師のブライアンの英語には通訳が入ります）
- ・デザインや美術などの基礎知識は必要ありません
- ・3日間通し参加が原則、部分参加はできません。
- ・参加費に、昼食代や交通費等は含みません
- ・応募者多数の場合、市川市内在住・在学者を優先させていただく場合がございます。また応募人数によっては抽選の可能性がありません。予めご了承ください。
- ・8月10日（土曜日）葛飾八幡宮でのイベント HAVE A GOOD DAY motoyawata にて成果展示ブースを設ける予定です。
（10日の参加は必須ではありません）

[場所] アトリエローゼンホルツ（市川市真間）

大正12年から昭和50年代まで銭湯として使われてきた木造古屋を古本カフェとしてリノベーションした空間です。

[3日間で行うこと]

- 自己紹介 & 交流会
- 各講師・ゲストを迎えてのレクチャー
（テーマ：デザイン・まちづくり・建築・コミュニティ etc）
- 課題発見のための町歩き
- グループディスカッション
- デザインワーク
- グループでの成果発表 など。

3日間の詳細スケジュールは追って連絡します。

[主催者]

ICHIKAWA DESIGN SUMMER SCHOOL 実行委員会

河野直・湊誠也・Bryan Ortega Welch

連絡先：2019idss@gmail.com

（返信に2-3日いただく場合がございます。）

お申込み

以下の参加申込フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/qUjqagpozRcnWfB86>



プログラム /Program

先入観なく自由にデザインするために、生徒には先の手順や完成像を一切知らせずにスタートする。

Day 1
形で遊ぶ



Day 2
空間をつくる



Day 3
ストーリーをつくる





Day 1

顔合わせ・自己紹介
Self Introduction



Day 1

金属棒を自由な形に曲げる
Make line freely



Day 1

同じ形の線をもうひとつ作る
Copy the line



Day 1

ふたつの線の間係を考える
Make relationship between lines



Day 1

動詞・形容詞・名詞を使ったタイトルを考える
Creating poem



Day 1

ふたつの線をつなぐ面を作る

Make surfaces between two lines



Day 2

面を支える構造体をつける

Make structure to support surfaces



Day 2 作業風景
Work scene



Day 3

敷地見学
Visiting site



1/50



Day 3

つくった建築の大きさ、機能、ストーリーを考える
Thinking about size, function, story of architecture



Day 3

作品をプレゼンする
Presentation

歩く新しい靴

歌ったり踊ったりできる野外ステージのある大きな公園と、温泉のある宿泊施設。カフェや、公園で遊んで怪我をした子どもなどを受け入れるクリニックを配置する。イチカワの景色を見ながら温泉に浸かってのんびりできる。

新しいくつをはくときのドキドキワクワクする特別な気持ち、新鮮な気持ちを感じて欲しいし、歩いて訪れて欲しい。



飛んでいる青い蝶

青を海や川と見立てて遊んでもらった人を癒すための施設。中には温泉施設や買い物ができ、屋根の上には半屋外のレストランが設けてあり、公園内にあるドッグラン利用者のためにも動物も隣で食べれるようにしてある。海風が傾いているような建物の表面を流れることが飛んでいるように感じられる。



嵐が来る夜

晴れた日にこの建物にカラーボールをみんなでぶつけていくことで1つのアートにする。みんなで何個もぶつけることで"嵐"が来た時のようなぐちゃぐちゃな作品が出来上がる。このアートは雨が降ることによって、全て雨に流され、またただの真っ白な建物になり もう一度アートの描けるキャンバスになる。雨の降る季節は毎日のように新しいアートが描け、雨のあまり降らない季節は自分たちの作品が多く残る。



流れる心地よい風

既存の外のコートは雨だと使えなくなるので建物をコートにかぶせることで、雨の日でも使えるようにした。二階には誰でも弾けるピアノを置いて音楽が流れる空間にした。音が流れてその音に惹きつけられて人が来てくれたらいいなあ。上と下にスポーツと音楽という関係ないものを置くことで、もともと嫌いだったとしても実際に見ると興味が湧き、教えあったりできる。新しい人間関係が生まれるかも！という願いもある。



倒れそうな大きな木

ライブ会場、屋外シアター。
辛い気持ちを乗り越える力をくれる場所。
シアターの客席は簡単には登れず、「乗り越える」ことを体験させる。客席の下の空間は、元彼との思い出の品を捨てる場所にした。また、ドライブインシアターとしても利用できる。倒れそうな時に支えてくれて、更に成長できる場所にした。



賑わっている雲

スケートボードの施設やバスケットコート、公園で遊んでいた人がひと休みできるお店やスペースをデザインした。



崩れそうな ボロいスクラップ

上の部分がアスレチックで、子供たちが遊べる場所になっている。下の部分は、大人が休憩する場所だったり自由に借りてライブやカフェが開ける所になっている。ここでーから作り上げるいろいろな人と会える場所にしたい。



風の通る素敵な場所

風が涼しくスーッと通っている、木がある場所に設置して、誰もが落ち着くような場所にした。時にはアスレチックだったり、ゆっくり寝たり、絵を描いたり時間をゆったり自由に過ごせる。子供も大人も楽しめる。たくさんに人が出会える、みんなのコミュニケーションの場にした。



のんびり過ごせる 三角屋根の家

海で釣りをする人が釣ったものをその場で調理して食べることができるお店。他にも海で遊んだ人やスポーツをした人が家にいるかのようにのんびりくつろげる空間になっている。



変わる コミュニティの一つ屋根

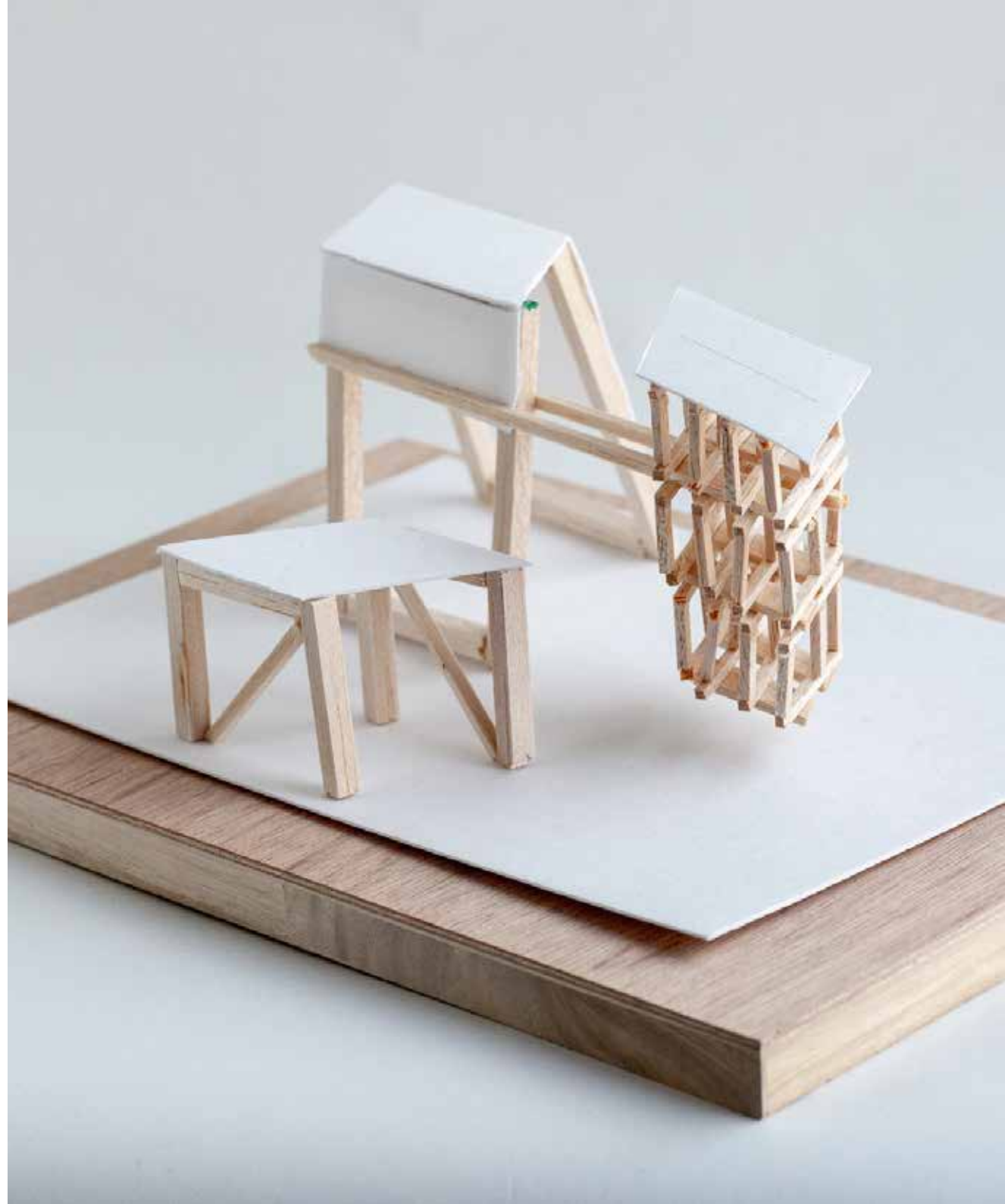
建物は変幻自在。表は看板としてもつかえるし、曲げればベランダみたいになるから屋根に人が収まりきらない場合拡張可能。裏は日焼けや仮眠につかえる。そのほか裏面にはステージが1Fに、2,3Fは小さな商店街？がある。



川の上を渡る 不気味なゴンドラ

誰も触れなそうな川を選び陸だけでなく水陸両用で遊べる遊具。アスレチックで遊んだ後に自分でゴンドラを引っ張り海に飛び込んで夏にピッタリのアスレチックとなっている。

※綺麗な川に限る。



人が集う真夏より暑い場所

みんなが使って成長したりみんなと繋がれる場所。ラップバトルなどさまざまなイベントの会場として使ったり、この場所に泊まることもできる。



迷っている楽しい人間の心

ショッピングモールとプラネタリウム、バンジージャンプなどたくさんのものがあって1日が終わった時には楽しかったと思える場所になるように考えた。



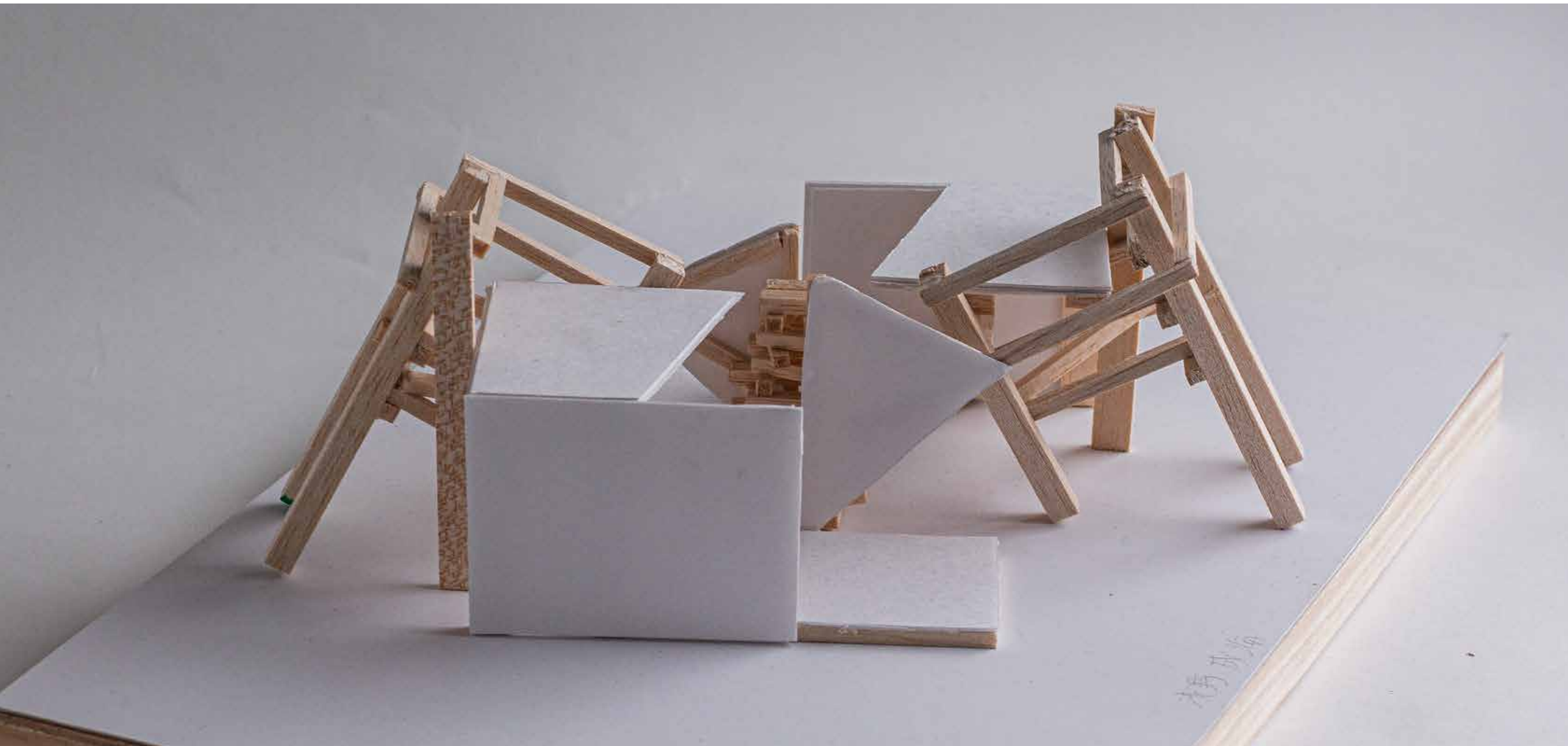
さまよう方向音痴の人

海が目の前にあるのに海岸がない！という事で人口の川を作って、直に水にふれられるようにした。構造は水に浸かっており、ボートで進むキャンプ場となっている。屋根はその上で寝ることができ、雨も防げる。ウォータースライダーで遊んだり、ハシゴの上で本を読んだりして過ごす。柱はイルミネーションやハンモックで飾られる。



燃える人の感情

夏ではウォーターパークで遊べるようになっている。冬では真ん中にあるキャンプファイアーで、悲しい感情やストレスなどを燃やす時に建物も全て燃やす。次の年には違った形をした建物ができ、多くの人に楽しんでもらう。



共有しよう、不思議な遊具

5つのオブジェクトを1/25サイズに設定することで、人が座ったり乗ったりできる。誰でも使えて、スケボーパークに移動することもでき、いろんな所で使える、遊べる、楽しめる。



かたむく大きな箱

傾く大きな箱は上がアスレチックになっており子供が楽しめるようになっている。子供が遊んでいる間に親御さんたちを含め、この大きな箱の影で沢山人が休めるように考えた。他スペースはイベント会場や屋台スペースとなり、夜にはバーベキューが出来る。ライトを下から上に取り付けより多くの人を照らせるようにする。



まだ未熟な食べかけのりんご

少しいびつで未完成に見える形が未熟な食べかけのりんごという言葉につながっている。

ひとつの建物は昼は Live 会場や演劇の舞台、夜は映画館として使用され、2つの大画面があり、下では寝っ転がりながら上では座って
みることができる。他にはホテルと、ポップコーンとか飲み物が売っている売店がある。



